

4 死亡の状況

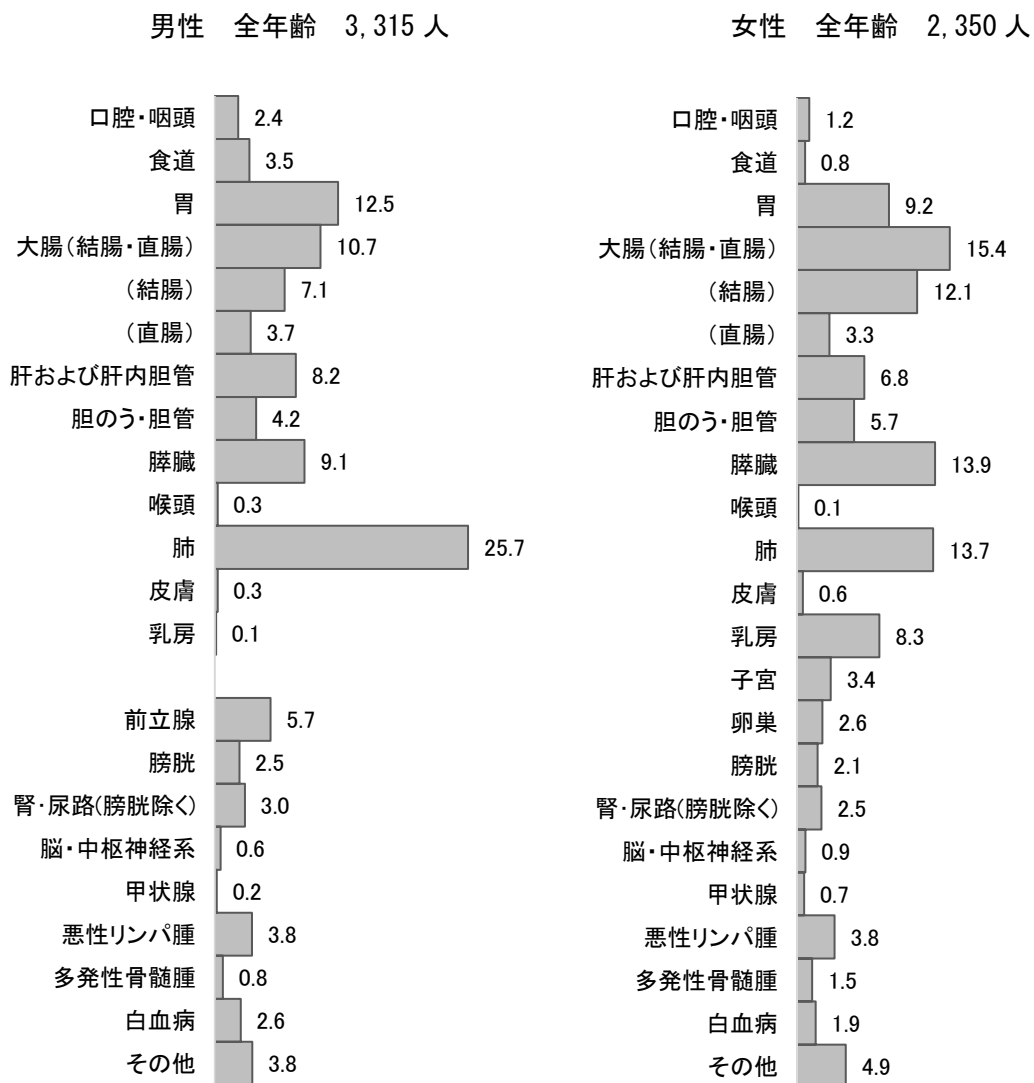
(1) 死亡の概要

岡山県において、がんを原因として死亡した者の数は、男性 3,315 人、女性 2,350 人、合計 5,665 人であった。

部位別では、男性は肺（853 人、25.7%（全部位に占める割合、以下同じ））が最も多く、次いで胃（415 人、12.5%）、大腸（356 人、10.7%）の順となっている。また、女性では大腸（361 人、15.4%）が最も多く、次いで、膵臓（326 人、13.9%）、肺（322 人、13.7%）、胃（217 人、9.2%）の順となっている。

【図 17】

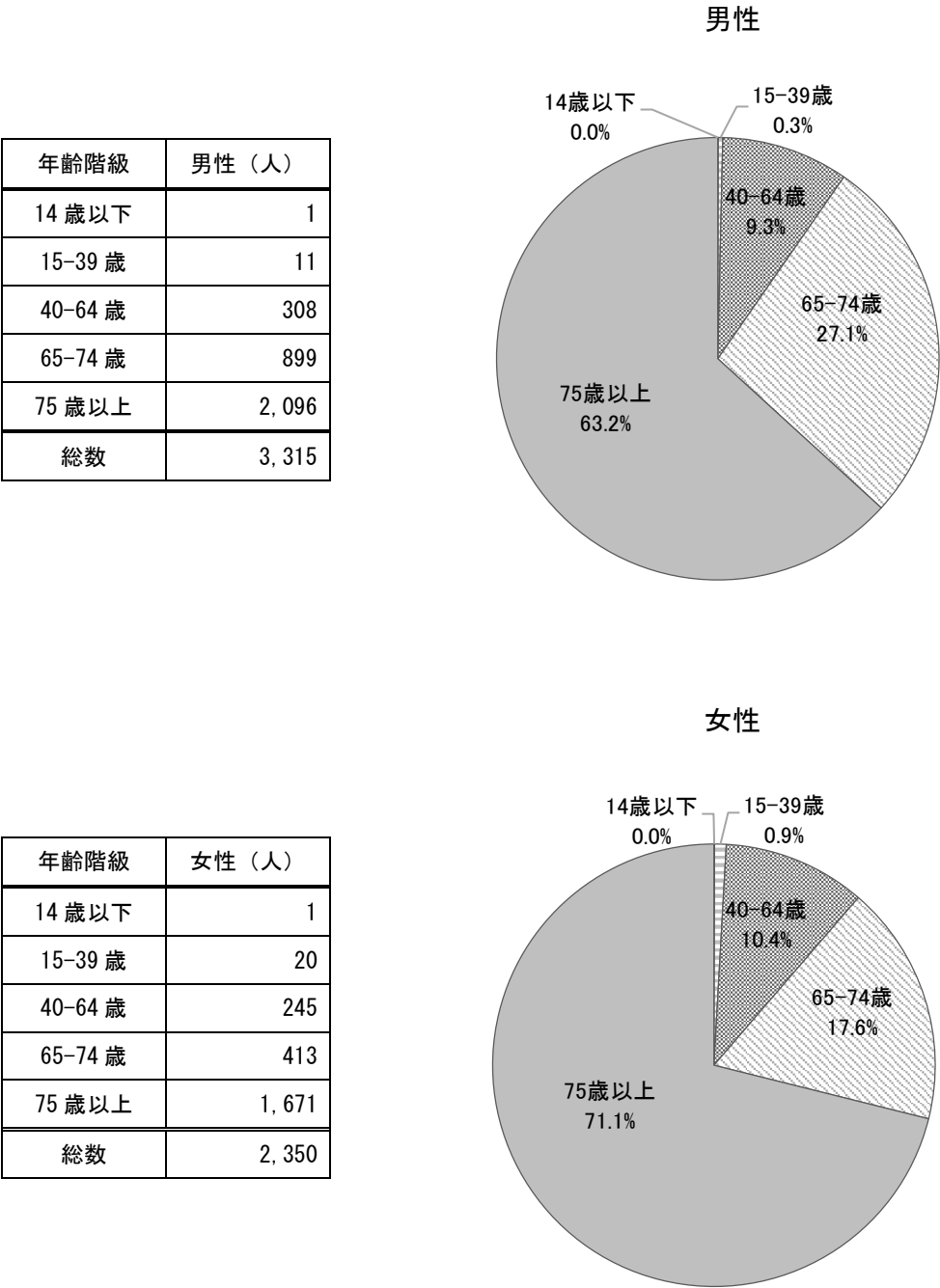
図 17 部位内訳（%）（表 9 から作成）



（２）年齢別に見たがんの死亡

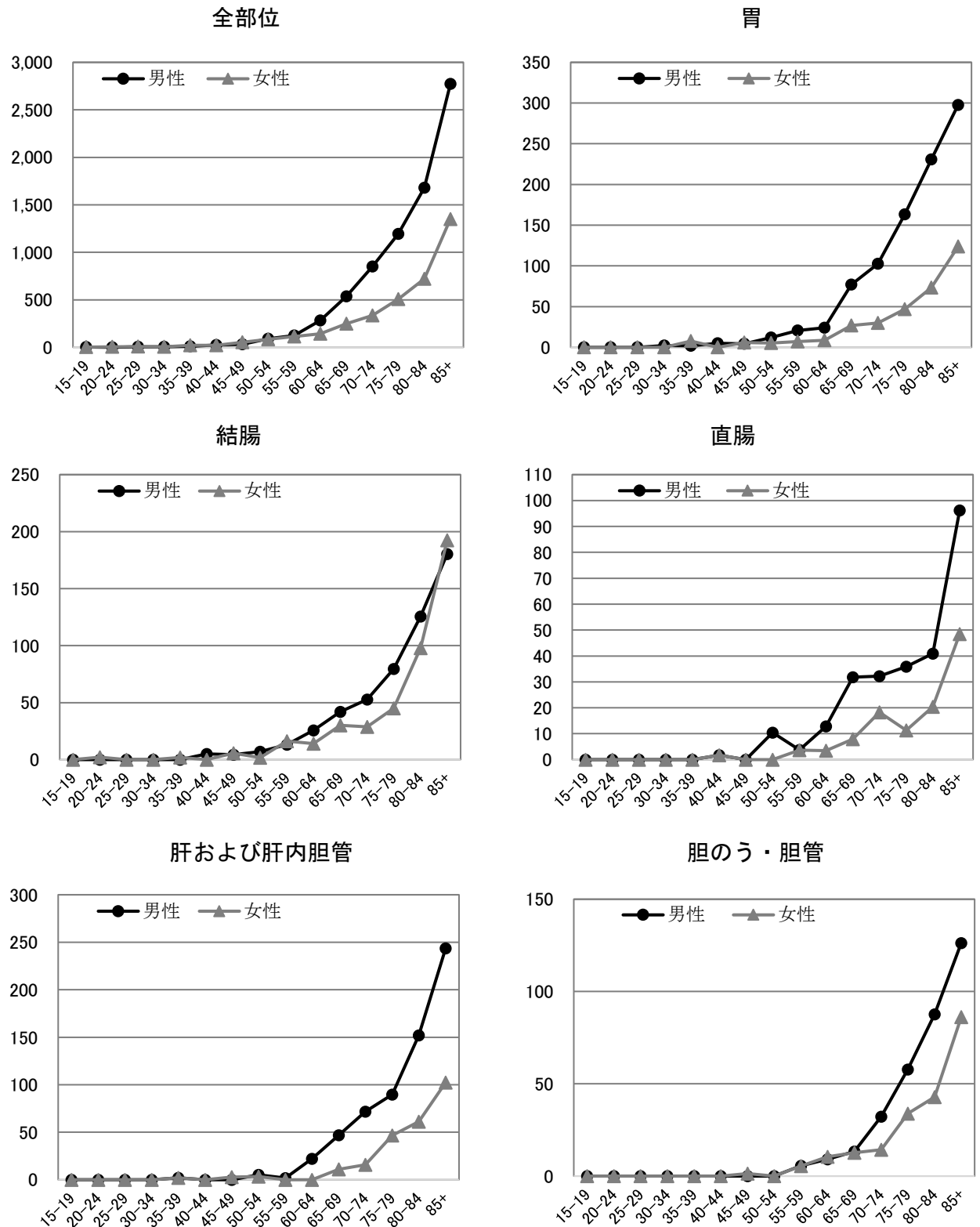
がんによる死亡について年齢階級別内訳をみると、男性では全体の約 90.3%、女性では全体の約 88.7%が 65 歳以上である。【図 18】

図 18 年齢階級別内訳（%）（表 10 から作成）

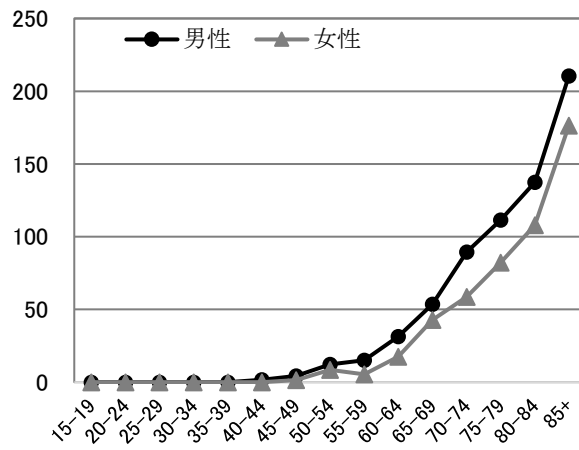


亡率が高い。【図 19】

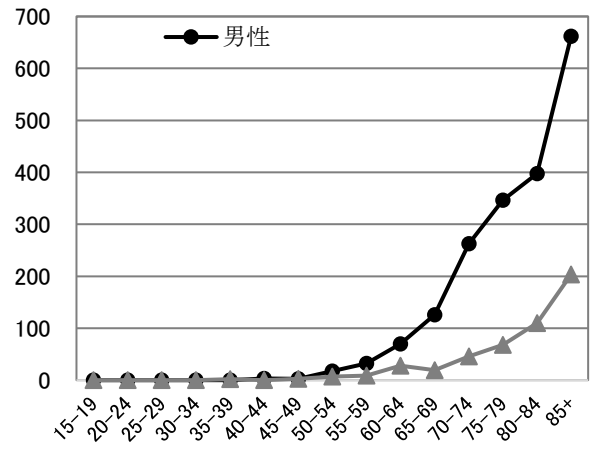
図 19 部位別年齢階級別死亡率：人口 10 万対（表 11-2 から作成）



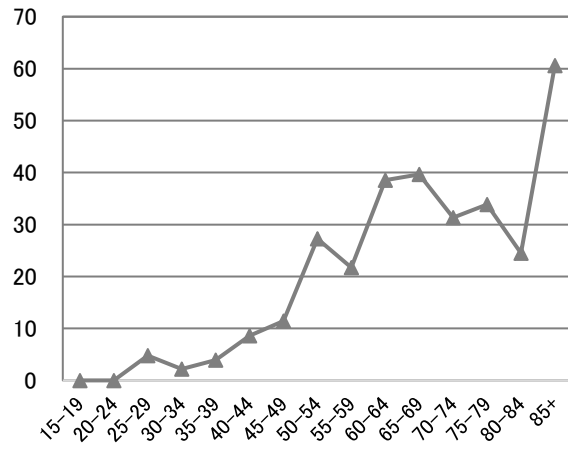
膵臓



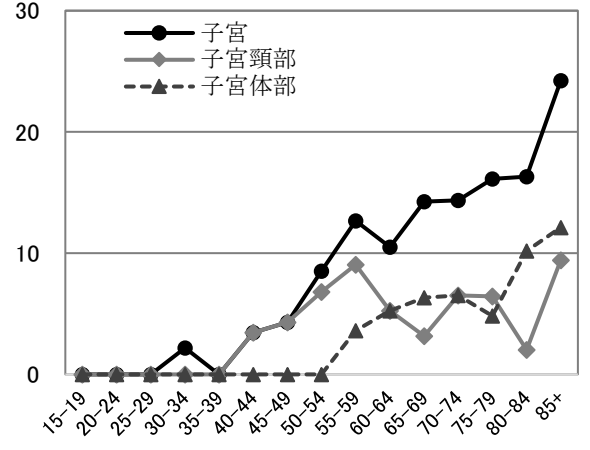
肺



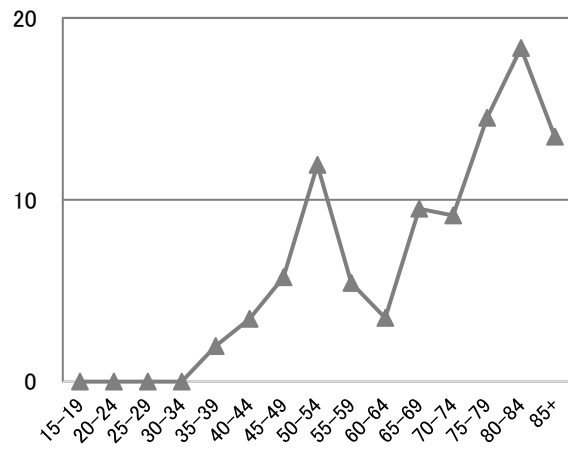
乳房（女性のみ）



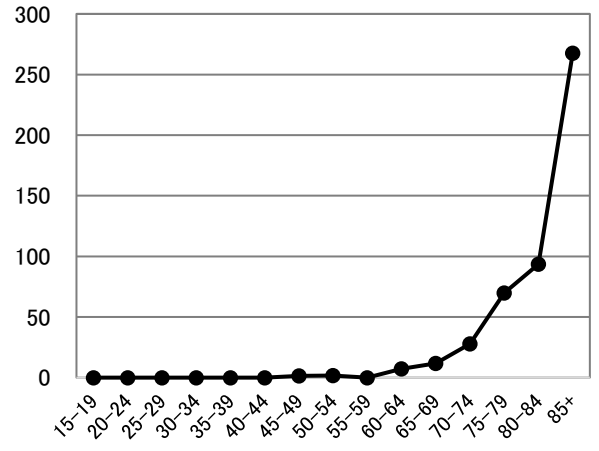
子宮



卵巣



前立腺



（３）岡山県のがんの死亡の特徴

部位別の粗死亡率について、厚生労働省の「人口動態統計(R2(2020)年」、年齢調整死亡率について、国立がん研究センターのがん情報サービス内に公表されている「がん統計(R2(2020)」による全国値との比較を示した。

年齢調整死亡率で見ると、多くの部位において岡山県は全国値を下回っている。

【図 20・21】

図 20 部位別粗死亡率：人口 10 万対（表 9、人口動態統計から作成）

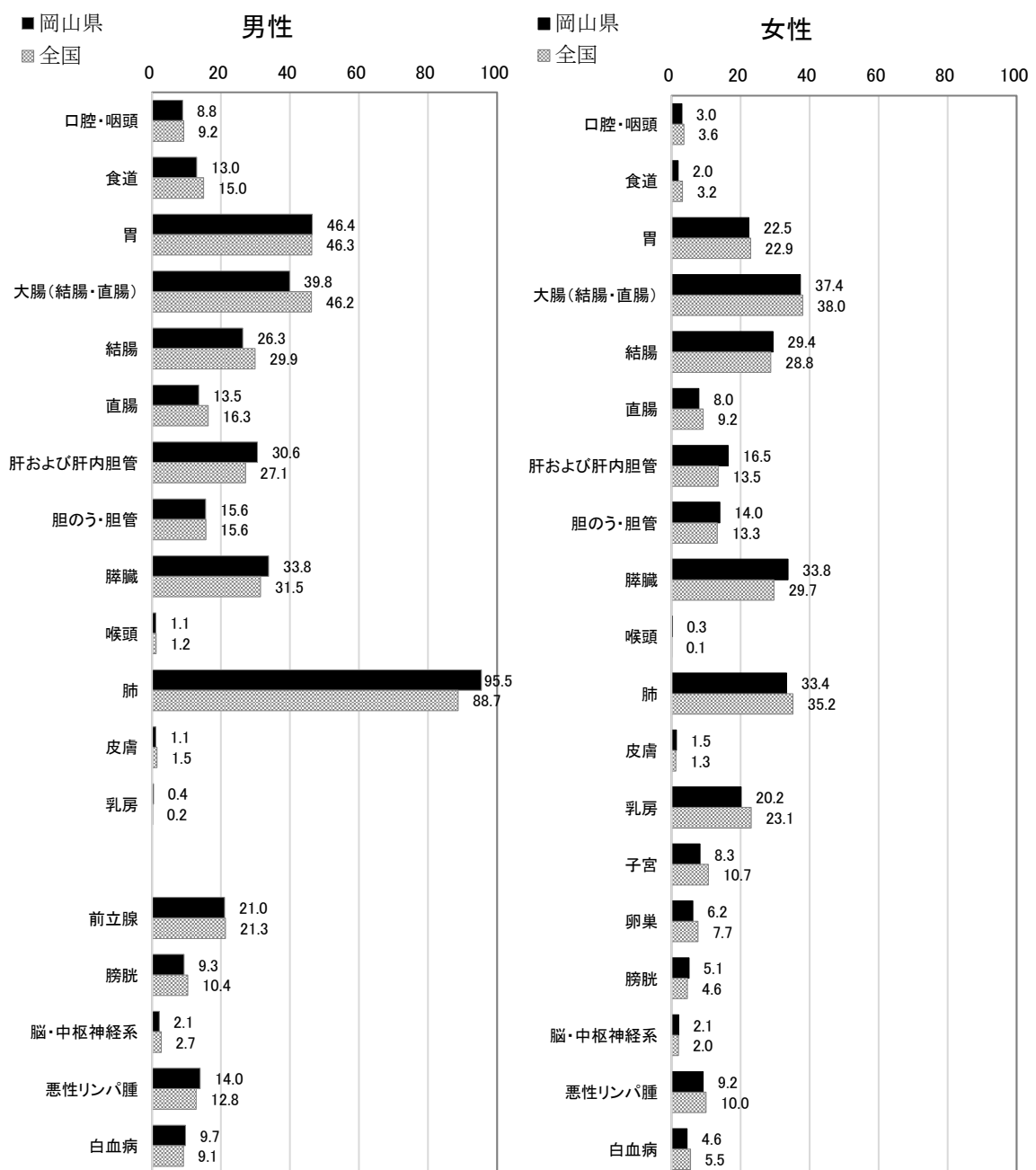


図 21 部位別年齢調整死亡率：人口 10 万対（表 9、がん統計から作成）

